

【国府_谷】地域の未来づくり懇談会 開催概要

- 1 日時 令和5年11月22日(水) 19時00分～20時20分
- 2 場所 谷地区公民館
- 3 出席者 地区16名 市13名(竹間市民生活部長、福山文化交流課長、佐々木文化財課長、北村協働推進課長、山川支所長)
- 4 テーマ 「歴史と文化を大切にし、活力があり、誇りが持てるまちづくり」
 - ①伝統芸能継承活動(因幡の傘踊りの振興、麒麟獅子舞の現状)について
 - ②文化財の保全・活用について
 - ③地域人教育について

5 概要

【地元あいさつ】

本日はお忙しい中、地域の未来づくり懇談会にご出席いただきお礼を申し上げます。コロナ禍で延期されていた懇談会が、このたびから「未来」という言葉が入り、まちづくりをテーマに開催されることとなった。当地区では令和4年度に予定していた内容を改めてまとめ、テーマに沿った多くの関係者の方と市幹部職員の方に集まっています。限られた時間の中ではあるが、懇談会の趣旨である当地区の未来に向けてこの意見交換が実りあるものとなるよう期待している。みなさんのご協力をお願いします。

【市民生活部長あいさつ】

本日は「文化」をテーマとした地域づくりということで、地域の皆さんと市が一緒になって地域づくりに貢献できればと思いを来させていただいた。忌憚のないご意見を聞かせていただけたらと思う。

テーマ①「伝統芸能継承活動(因幡の傘踊りの振興、麒麟獅子舞の現状)について」

【地元(説明)】

当地区は、伝統芸能の継承活動ということで、傘踊りをメインに据え、高岡の傘踊りを復活させようということで自主映画を制作した。その辺も含め現状など話をしていきたい。

【地元】

高岡の傘踊りの現状としては、定年が伸びるとか世代交代の関係もあり、活動が難しいと思う。後継者が育たないというよりも、若手が以前のような熱意がなくなってしまったような状況の中で、有志が数人で取り組んでいたがなかなかまとまらない。何とかしなければと思いつつ、映画づくりに取り組んだが、若干、休眠的な状況になっている。高岡自体が何とかしなければいけないなという状況だと思う。

【地元】

見ている範囲で話をさせていただく。高齢の方が中心で、現在、組織は2名と聞いている。2名では傘踊りはできないため、しばらく休憩をして状況待ちをしているところだと思う。山本徳次郎さんが作られた高岡の伝統ある傘踊りを継承していこうという粋のある人を、その組織づくりをと思うが、人が少なくなる中で、若い人の参画意識が非常に薄いのではないかと考えている。国府町で共有する形でやっていかないと継承できないのではないかと危惧している。国府町で一つ組織を作って、国府町の伝統ある高岡の傘踊りという位置づけでやっていくことが喫緊の課題ではないかと考えている。

【地元】

傘踊りは、息子が中学校のときに習っていた。たまに踊ることがあるが、県外にいてなかなか帰ってくることはない。今、保育園ではしゃんしゃん傘踊りを、小学校では傘踊りをかなり練習している。中学校は同好会があるが、その次がなかなかない。

【地元】

「傘踊りの祭典」を4年ぶりに開催することもあって、国府町因幡の傘踊り保存会で活動をさせていただいている。以前からお願いしていることではあるが、国府町ではなく、まずは谷地区で高岡の傘踊りをするをお願いしたいと思う。

昭和49年に傘踊りが県の無形文化財に指定されている。これは傘踊り全体が指定されているのではなく、国府では高岡の保存会、美敷の保存会、それから麻生の保存会の三つ。鳥取では横枕の保存会。あくまでもその踊られている地域が指定されているので、高岡の保存会で、谷地区で取り組んでいただきたいと考えている。それは必要だとも思っている。

今日は神垣の手笠（踊り）も来られているが、手笠（踊り）は鳥取市指定の文化財となっている。美敷も手笠（踊り）を踊っていたが、実は平成18年ぐらいから引き継ぎができなくて、地区で取り組んだ。今は宮下地区手笠踊り保存会ということで(活動しているが)、一時、これが何とか市の指定にならないかと相談をしたことがあったができなかった。神垣も市の保存・指定になっているが一緒だと思う。今年は踊れる方がなくて、傘踊りの祭典に出られなかった。手笠（踊り）にしても、やはり地域で取り組んで欲しいと思う。

基本的に、麒麟獅子圏域と同じところで傘踊りは復活し、二つあって伝承して来ていると思う。麒麟獅子に比べ、因幡の傘踊りがなかなか世に出てこない。むしろ後退するというのが現実なので、鳥取市としても力を入れて欲しい。しゃんしゃん傘踊りと一つになっているようで残念な思いがしている。

若い人が踊りを継承できないというのは、私たち保存会にも責任があると思う。やはり魅力ある踊りをしないと誰もしてみたいと思わない。今日は麻生の方は来られてないが、本当に元気な踊りをされて、踊る度に拍手をもらっている。魅力ある踊りをするということもお願いしたい。

【地元】

谷小学校閉校のときにPTAの方は宮ノ下小学校とも一緒になった方がいいのではと何度も言ってきた。小学校をどう維持していくのか。あの当時、息子の学年が男子6人、女子10人のクラスだった。この地域に残っている子はいない。どの学年もそういう状態になっていて、「未来」と言うが、この中で若い人と一緒に住んでいる方いるかという話に根本はなってくると思う。実際、住んでいる若い人に話を持ちかけていくと、若い人が流出していく。はっきり言って、どこの地域も、土・日はみんなが地域のことに追われているのが現実だと思う。

伝統を守りたいけど、なかなか難しい。現実に沿うようにこれを進めていこうと思うのであれば、YouTubeのような形できっちりとした伝統の踊りとかが保存されていくことが大事ではないかと思っている。因幡の傘踊りが何チームかあるが、高岡はちょっと踊りが違って、雨がしとしと降るような踊りであまりドタバタしない。共通踊りになったところもあると思うが、個々のチームで踊りは違う。多分それが継承されたいことかなと思う。

【地元】

高岡やそれぞれが継承するのが当然だと思う。これは万博で麻生と美歎と高岡と一緒に踊って、それで一つ(共通踊り)になって、今もそれが継承していたりする。

【地元】

この話題に、高岡の傘踊りの継承の会の方がおられないなと思った。高岡の源流の踊りを踊れる人はおられるのか。

【地元】

何人かおられる。

【地元】

継承しようと思っても人をどうやって確保するか、それが一番大事な軸になってくると思う。

【地元】

10年前だったか。高岡の踊り手が少なくなってきた、何とかしないとこのままどんどん衰退していくということで、当時、その昭和の万博の前後に活躍されていた踊り手に指導してもらおうと若い人を集めて何人かされたと思う。ただやはり日本全国、世界に行かれていたそういう時代の人の踊りの厳しさ。なかなか若い人がその厳しさについてこられない、相当厳しいと聞いた。そうしないと伝承していけないような踊りだということも聞いた。子どもの頃から傘踊りが地元であり親しんで見てきたが、やはりうまい踊り手さんの踊りを見ると小さい子でも若いときでも鳥肌が立つような感じを覚えた。

現状として、もう数名しかいない。自治会としても「何とか集まらないか。助成金もつける。」と話をしたときも、やはり踊り手の人は難しいということだった。人数を集めるだけではできない。5人集めても「立ち」と「座り」とその組み合わせが揃わないと踊れない。外で踊ると

なると素人に毛が生えたような踊りではとても恥ずかしくて外に出られないと大変困っておられる。ぜひ、なるべく広い範囲で集めてもらって、志を持った人ができればという思いがある。

昔はある程度高齢の者が自治会の役員をするという慣例があったが、現在はどんどん繰り上がって、若い人が農業関係、自警団、地域の関係、子ども会やPTA役員をしている。自治会役員が終われば次は農事組合とか、若い人はもう毎年何かの役がついている状況なので、それに傘踊りの練習となると相当厳しいと思う。これが高岡の実情だと見ている。

【地元】

とにかく谷地区全体で取り組んでいく。月に1回でも週に何回でも取り組んでいく。

【地元】

今の傘踊りは男性踊りだが、実は美歎はご存知のように岡益の女性が紅一点おられる。本当にありがたいことと思っている。因幡万葉歴史館の講座で、傘踊りを体験して「傘踊りの祭典」のときに踊ろうという取り組みをしたとき、応募があって今につながっている。今思えばそういうことも一ついい取り組みだったかなと思う。今は男女関係なく踊ってもら方がいいと思う。男女問わず募集をお願いしたい。

【地元】

女性も何人かおられる。そういう方を起点としてとにかく繋いでいく、していくことが大事ではないかと思う。

【地元】

高岡の伝統ある傘踊りを保存していく、継承していく一つの専門委員会をお願いしたい。地域は、谷地区限定というわけではないが、まず谷地区で男女を問わずメンバーを募って、使命感に燃える人を作っていく。いずれにしても現在、文化財として指定されている美歎、麻生、高岡、横枕それぞれ独特の踊りがある。それはそれとしてやれば良いと思うが、やはりその中心になるのは高岡の傘踊りだと思う。踊り方も違う。

【地元】

傘踊りは、横枕や倉田、しゃんしゃん傘踊りも外に回す。高岡は内回し、美歎も麻生も内回し。そのことも大きな違いとなっている。確かに、振り付けが(傘の)回し方に沿うような形になってくるので、外に回す踊りと違ってくるとは思う。

【地元】

形が違うので、その辺を統一したものを専門委員会でも作って、高岡の踊りをしてもらおう。そういうことを検討する委員会を設置していただきたいと提案する。

【文化交流課】

30分以上皆さんの激論を聞かせていただいた。この問題については、あとから出てくる麒麟獅子もだが、これという決定打はないと思う。ただ一つ言えることがある。しゃんしゃん祭に参加するしゃんしゃん傘踊りの「連」は以前に比べてかなり増えている。本式の傘踊りは少なくなっていくのに、しゃんしゃん傘踊りの「連」はどんどん増えている。

これは何かヒントになるのではないかと思う。まず何かやろうという時に、面白そうだな、楽しそうだな、かっこいいなとか(があると思う)。最近、麒麟獅子を見て「かっこいい」という子どもが結構いる。原点に返り、やってみたいと思ってもらえるにはどうしたらいいか、もう一度みんなで考えてみるのも大事かと思う。

最後は、部活動と一緒に勧誘していくことも必要だし、やりたいと思ってもらうためにはどうしたらいいか、専門委員会内でもいい、一緒に考えてまずはやってみる。これをやってみよう、あれをやってみようと次から次に仕掛けていくことが大事かなと思う。

【地元】

ぜひ、お力添えをいただきたい。話し合いたい。

【地元】

今、両方の意見を聞かせてもらった。最近、麒麟獅子は確かに日が当たるようになってきたと思う。兵庫県の但馬と鳥取県の東部地域で麒麟の協議会ができている。同じ地域に傘踊りがあるが、傘踊りには残念ながら今も日が当たってない。少し寂しく思う。映画を作ってみて、みんなが何とか高岡の傘踊りを保存・継承したいと思っている。

広く人を集める、そのための講座を開催して先生も来てもらう、踊り手も来てもらう、講座員も集めるというような方法でも、麒麟獅子に劣らないよう傘踊りにも一度日を当てて欲しいと思う。そのために市も何か事業ができないか考えていただきたいと思う。今、文化財が廃れてきているように感じる。何とかできるようお願いしたいと思う。

【地元】

神垣自治会は約40軒だが、自治会の中には「神垣神社」と「室神社」と2つある。今日は室神社の氏子として来た。私達が伝承している獅子舞の氏子は約40軒のうち13軒となっている。

今から15年ほど前、氏子の3家庭が3年間で順番に当番で氏子総代をする、その氏子総代が獅子舞をする、舞うのは3名では足りないため鉦(かね)や太鼓、お囃子はつける、そういう段取りで来ていたが、だんだん年数が経つうちに「高齢で腰が痛い、とてもそんなことは無理だ」ということがあり危機感を覚えた。私が総代のとき、若い人に皆集まってくれと全13家庭にお配りし、何軒か集まってもらった。今はもう50代、40代、30代だが、当時は10何年前なので、そういう若い人が集まってきて、現在は6名の舞手が確保できている。そのうち3名は国府町外に住んでいる。春祭りに獅子舞をするが、春祭りは毎年4月第1日曜日にして、3月の終わりに練習をして本番を迎える。

舞は神社をスタートして、各氏子13軒を回って終わりかと思いきや、何年前からか神垣神社の氏子さんからも何軒か舞ってくれということで、大方20軒近く舞っている。舞いを終わってからは、最後はまたもう一度神社に帰り、本練り・七変返し・門付けと全部を舞手が交代で舞う。かなり労力を使うし、少々の雨のときも舞っていて、それを継続してきていて、私達も鉦とか太鼓を叩いてお囃子をするし、あとは榊とかつけて、子どもたちも若い子や曾孫とかも全部ついて回ってきて、そういういきさつや流れとか内容を子どもながら見ながらだんだんと培っているなどという気がする。当面の間は、若い人がいる。

神垣は慶応元年ぐらいの獅子頭を現在使っている。獅子頭は二つあるが、一つはもう舞えないが、そういう長い歴史をずっとこの13年、少数の集落の氏子数の中で、脈々と何十年と継承してきたことを若い人たちに全部しつこいほど話をさせていただいて、若い人にも納得してもらって、これからも引き続きやっていきたいという思いでいる。コロナで舞ができないときもあったが、来年以降も継続していこうと思っている。

課題は、願わくは、自治会全体でやるような形。宮司さんがまとめておられるが、神社は違うため、このあたりをどのようにして自治会全体でにぎやかに春祭りが、獅子舞が回ってきて、もっともっと多くの人に理解とか継承の思いを伝えるようなことになればと思う。

【地元】

岡益は麒麟獅子舞をこれも細々と、若い人がいないので、人数を集めてしている。毎年3月第2日曜にしているが、コロナで4年間中止している。岡益の獅子頭は、室町時代からの麒麟獅子舞、麒麟獅子の頭で、因幡万葉歴史館に保存していて、そのレプリカで獅子舞をしている。他のところの獅子頭より重いと思うので、本番に向け2か月前から練習している。若い人がいないので、これからどう人数集めをしていくか。自分も獅子舞に携わっているが、自分らのときは高校から練習して20何年舞った。「高校生からでも練習に出て獅子舞をして欲しい」と話をしているが、高校から仮に練習しても、大学で県外に出たらもう帰ってこないで、その1年間とか2年間だけで、その辺をどうして人数集めしていこうかが課題となっている。

【文化交流課】

麒麟獅子も傘踊りと同じだと思う。麒麟獅子舞については、令和元年に日本遺産に認定され、令和2年には国の重要無形民俗文化財にも指定されている。これは因幡と但馬の麒麟獅子舞がセットだが、そういう形で非常に麒麟獅子に光が当たっていると思う。本市としても、日本遺産の認定を活かした取り組みをしていて、その中の一つに子ども向けのワークショップがある。具体的には小学生以下の子どもたちを集めて、麒麟獅子の体験ということで、獅子をダンボールで工作し、自分が作ったものを使って舞を舞ってみるというようなことをしている。これの指導は、智頭農林高校の郷土芸能部の高校生、あるいは兵庫の浜坂高校の麒麟獅子舞の部活動で高校生がしている。次世代に次世代を教えてもらうような取り組み。こういう取り組みは、「傘踊りで何をしたらいいか？」というヒントになるかもしれない。

今までは麒麟獅子も集落で何とか継承してきたが、少子化の流れはなかなか止められない中で、集落や保存会だけで維持してくださいというのは厳しいと思う。であれば、やはり集落だけではなく、外から来てもらうのも一つの方法だと思う。多くの人に寄ってもらう。

もっと大きな塊で考えて、例えば部活動でも、クラブチームでもいい。「麒麟獅子舞やりたいけど自分の集落には麒麟獅子がない」とか、「神社がなくて…」とか、そういう子もどこかでできるような仕組みを作っていくとか、そういう形で残していかないと限界があると思う。

傘踊りについても、みんなが集まって麒麟獅子のようなやり方を少ししてみるとか、具体的に何ができるかということをしてみる。四つの傘踊りの保存会が一堂に会することはなかなかないのでないか。

【地元】

今はない。国府町は傘踊りの祭典で一堂に会するが、今、横枕も活動ができてないようだ。

【文化交流課】

今、麒麟獅子は「因幡麒麟獅子舞の会」という有志の団体が実はできている。全部の保存会が入ってなくて、50団体。これは本当に集落を超えて、みんなで固まっているところなどで麒麟獅子舞をして、広く知ってもらい、私もやりたいなとか僕もやりたいなを発掘していこうといういろいろな取り組みをしている。傘踊り保存会もこういう形で横の繋がりを作って、全体として何かできないかということが、これからできることではないかと思う。

【地元】

私は生まれも育ちも県外で、小さいときの思い出というのは一切ないが、自治会役員を長くしていて、今はコロナで飲み会はないが、飲み会の際に、昔麒麟獅子を舞ったとかお神輿の話を知っていた。20戸ほどの小さな自治会だが、立派な神社があり、籠堂（こもりどう）にお神輿と麒麟獅子が眠っていた。有志が何年も宝くじの申請をして叶い、復活して籠堂に展示している。神輿を担ぐ担ぎ手とか、麒麟獅子を舞う人材がいなかったため、その辺りは少し残念ではあるが、私のように過去を知らない者でもこんな立派なものがあると誇らしく思う。これを今後どのように保存し、かつ活かされるかは一つ課題というか悩みかなと思っている。

【地元】

麒麟獅子舞については、連合会組織を作り、国の無形文化財の指定を受け、令和3年、4年、5年の3年間で第1期として補助金をいただいている。(組織)全体で調整し、希望する保存会に配分されている。第2期の開始が不明だと聞いている。継続ができないものか。毎年獅子舞をしていると、どうしても器具や本体が痛んでくる。今は鉦と太鼓しかないが、以前は笛があり新調できないかと思う。賑やかにして、継承していくためにはそういうものも取り入れながら渡していきたいと考える人もいます。第2期の開始について、具体的な見通しがあるかお聞きしたい。

【文化財課】

麒麟獅子の修繕などに使える補助金だが、平成31年2月に麒麟獅子の保存・継承を目的とした「因幡の麒麟獅子舞連合保存会」を設け、市内では77団体が加入されている。谷地区では、神垣の室神社と岡益の稻荷神社が加入されている。

補助金については、令和3年・4年・5年とあり、今年が最後の年となっている。国から200万円の補助金があるが、（申請額が）それ以上でないと補助が使えないため、最初はどれぐらいあるかと思っていた。多くの団体から申請が出て補助金が3年間継続できた。次については、期間を置いてまた改めてということになると思う。麒麟獅子舞連合保存会の総会等を通して、いろいろ希望をお聞きし、集まれば、また国や県の補助金申請に向かうことになると考えている。

本市で認識している麒麟獅子の会が市内には107団体あるが、保存会に加入しているのは77団体のため、30団体ぐらいは休眠状態なのかなと思っている。麒麟獅子は神社と結びつくため、氏子にこだわられると後継者不足ということが出てくる。傘踊りも一緒だが、制約を外していきながら広くしていかないと会としてはなかなか難しいかなと思う。

【地元】

毎年舞うと（道具が）傷んで来るのは間違いない。それを放置すれば今度は補修が新調ということにもなりかねないと思う。市や県、民間でもいいので、今の補助金に似たような他の制度があれば、案内・紹介していただけないか。

もう一点は、一つの自治会や一つの団体・組織だけで、これから先に継続していくのは難しいというのが現状なのはよくわかるが、傘踊りや獅子舞にも流派があり、ここは東照宮、樗谷の方から継承・伝承だと聞いている。また町内には、宇倍神社などいろいろ流派・宗派があり、舞の仕方が違う。だから、これを合体するということが非常に難しいのかなと思う。それがあってこそその伝統というのもあると思うので、調整ができるのか、今後の課題かなと思う。

テーマ②「文化財の保全・活用について」

【地元】

国府ガイドクラブで活動している。因幡国府には、歴史と伝統、史跡がたくさんある。町内はもちろん、いろいろなところから紹介ガイドの依頼を受けている。そういう方に見ていただきながら、私達も勉強しながら一緒に楽しめる会だということで、現在13名で活動しているが、例えば台風で施設が荒れたまま放置され、案内しようと思ってもできない現状がある。そういう修繕もなかなか自分たちでは無理なため、ぜひ文化財を保存するというところから直していただきたいと思う。

それから、国府町にたくさんある史跡を紹介する掲示板が欲しいと思っている。なかなか個人や団体で作ることは難しいので、観光資源として史跡を紹介する掲示板をぜひ作っていききたい、作って欲しいなと思っている。

例えば、徳足比売の墓石に行く道はとても急峻で、現状なかなか人が上がれないと思う。以前、自分たちで簡単なコンクリートの石を置いたりしたこともあったが、時が経過して崩れたり

して、見たいという希望をいただくがお連れできない。そのような残念なところが多々ある。ぜひ行政の方で何とか施設の整備をお願いしたいと思う。

たくさんのアンケートで、「皆さんと一緒にガイドの話を聞きながら史跡等を見るととても良かった。今日は有意義だった。」というご意見をいただく。ご案内することの喜び、皆さんと良い施設を見ることはとてもいいことだと思うが、整備にはいろいろなハードルがあると思う。文化協会や観光団体の方と一緒に一つ一つクリアしていきたい。このたびの台風で、雨滝の橋が流れるなどとても悲惨な状態になった。新聞にも掲載され、とても大きな災害だと知った。雨滝は、皆さんが春夏秋に涼を求めて行く観光地なので、支所へ直談判に行つて「何とかお願いしたい」とお伝えした実績もある。

【文化財課】

文化財にも国の指定、県指定、市指定があり、広く一般には指定されないものも文化財といわれる場合もある。本市では、指定文化財であれば補助金制度がある。個人所有であれば原則は個人が修繕するものではあるが、それはなかなか大変だということで補助制度を設けている。

例えば、徳足比売の上り坂は民間の土地のため、もし修繕するとなると所有者の自己負担がある。自己負担があってもいいからやりたいということであれば、相談していただければ予算確保をしていきたいと思う。ガイドクラブの掲示板は、例えば谷地区の観光マップ的なものか。

【地元】

そんなにお金をかけない小さいもので、日頃、車で走っていて「こんな観光施設があるよ」という掲示板にすれば気楽に行けると思うし、あれば私達ガイドが皆さんに案内するときにも説明がしやすいと思う。

テーマ③「地域人教育について」

【地元】

子どもガイドクラブを育てたいというのが一つある。10年ぐらい前、宮ノ下・国府東、両方の小学校合同で子どもたちが地域の史跡を勉強して、皆さんにガイドするという事業があったが、今はなくなってしまった。子どもたちに現場を見てもらい、歴史的な経過を勉強することで、史跡への愛着や郷土に対する思いが育まれると思う。また、ガイドすると皆さんが自分の話を聞いてくれるという喜びを感じられると思う。それを子どもたちが体験できれば、とても意義のあることだと思うし、そのシステムをしっかりと考えて、子どもたちが地域の史跡を案内するようなクラブ活動になれば、それを継続して行ければ、それぞれの公民館で本番に向かってリハーサルをして、私達もアドバイスをしながら皆さんと一緒にできればと思う。

【地元】

国府町、当地域もたくさん石碑が、それから名所・旧跡もあるので、それを子ども達が子ども達の言葉で、現地でおじいちゃんやおばあちゃん、子ども、友達へ説明できるようになればと思

う。自分の言葉で伝えることは勉強になるし、地域を愛する気持ちが育つのではないか。学校の地域クラブの活動の一つにしてもらい、子どもたちが玉鉾橋にある石碑について話をしてくれるとかあればいいなと思う。地域人教育ではなくても、その地域の史跡について勉強したり、こんな活動しているという先行事例があれば紹介してもらいたい。

【文化交流課】

久松小学校に麒麟獅子クラブがあり、保存会が指導に入っている。これは湯所神社の保存会におられた方が熱心に通って指導し、最初は子ども達のために道具も自作して、それで小学校にクラブがある。これは本当に継続して学校とタッグを組むしかないと思う。

本市は、北海道釧路市と姉妹都市提携60周年だった。釧路の子ども達には、鳥取の元士族513人が明治の初めに渡り、開拓して今の釧路の元を作ったということがしっかり教育されている。

「私のご先祖は鳥取の人です。」と本当にわかっている子がいる。釧路の人には、鳥取に対する何か凄い尊敬の念、ご先祖の都市だという思いがあり、それは学校でしっかりと教えているということがあった。それを参考に、鳥取の姉妹都市には、釧路、姫路、郡山や岩国が、外国は韓国の清州、ドイツのハーナウがある。なぜ姉妹都市か、どういう経緯で姉妹都市になったかを子ども達に知ってもらい、それを知る大人が増えていくよう、学校と組んで継続して地道にやるしかないと思った。

先ほどの麒麟獅子クラブも地道に熱意を持ってされてきたと思う。智頭農林高校、浜坂高校も先生が一生懸命指導されて続いている。いつも「人数がギリギリだ」という話は聞くが、今いる子ども達たちが新入生を何とか勧誘したりして続けている、そういう取り組みをしている。

【地元】

子どもガイドクラブの関係で話をしたい。子どもに昔話を聞かせる「民話の会」というのがあると思う。以前、谷小学校(国府東になる前の小学校)で、いろんな昔話を聞かせてもらい、非常に生徒に人気があったという話を聞いた。「多鯰ヶ池のお種さん」をはじめ、いろんな地区の昔話を聞かせてもらうことに、ガイドを利用してもいいのではと思う。

【協働推進課】

本課は、まちづくり協議会の補助金交付を担当している。谷地区では谷地区活性化協議会になるが、そのまちづくり協議会の取組として、美保南地区をご紹介したい。地区公民館と美保南地区のまちづくり協議会が主体となって、地域の団体も協力して、子ども達の夏休みのうち数日間を、宿題も一緒にする、遊びも一緒にするという感じで、世代間交流している事例がある。

例えば、国府や谷地区にある史跡をみんなで見に行く、その中で夏休みの研究ができるなど、子ども達にも夏休みの宿題ができるとか、普段なかなか関われない方や大人と一緒に遊べる、そういう機会があれば、子ども達にもよりこの地域の史跡に関心を持つとか知らなかった史跡やその場所を確認することができるのではないかと思った。参考になればと思う。

【支所長】

本日は、貴重な時間をいただき、意見交換をさせていただいた。お礼を申し上げます。

傘踊りや麒麟獅子にしても、地域人や後継者にしても、一朝一夕にできるものではないと思う。いずれにしても、本市の政策、県や国の動向も踏まえ、必要なお支援ができることもあると思う。ご要望等があれば、まずは総合支所の方にお聞かせいただき、これからも谷地区の皆様と一緒に考え、歴史・文化を活用したまちづくりを一緒に進めていきたいと思う。